平成28年度第2回 水工学委員会および幹事会 議事録

日 時: 平成27年10月6日(火)12:00~13:00

場 所: 土木学会 AB 会議室(東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内)

水工学委員会幹事会 12:00~13:15

出席者:中北英一(委員長)、戸田祐嗣、朝位孝二、石塚正秀、泉典洋、今村能之、今村正裕、内田龍彦、大本輝憲、門田章宏、川口智哉、呉修一、里深好文、近森秀高、中川啓、前野詩朗、横嶋哲、浅沼順、石平博、入江政安、音田慎一郎、河村明、神田学、杉原裕司、竹林洋史、多田毅、田中規夫、知花武佳、冨永晃宏、中津川誠、原田守博、藤田一郎、宮本仁志、矢島啓、横山勝英、中山恵介(幹事長)(順不同、敬称略)

≪報告事項≫

- 1. 水工学に関する夏期研修会(8月22日、23日、秋田大学) (資料1) 中山幹事長から開催報告が行われた。アンケートの結果、満足度が高く再度参加したいと回答した人が多かったことが報告された。幾つかのご意見・ご要望に対して対応すべきではないかと考えられる。
- 2. 水シンポジウム in やまぐち (8月25日、26日、山口県総合保健会館) (資料2) 中北委員長および中山幹事長から開催報告が行われた。500名を超えるの参加者数であり、充実したシンポジウムであったことが報告された。
- 3. 全国大会 (資料3)
 - 研究討論会(9月7日、9日、東北大学)
 - ▶ 【研 06】気候変動への適応研究推進に向けて
 - ▶ 【研 19】水工情報システムの発展
 - 共通セッション CS (9月7日、東北大学)
 - ▶ 気候変動による影響への適応

中山幹事長から開催報告が行われた。「気候変動への適応研究推進に向けて」は 120 名を超える参加者であり、大変盛況であったことが報告された。また、共通セッション「気候変動による影響への適応」を来年度以降も継続することが提案された。

4. 各部会, 小委員会、関連委員会の活動報告・計画(第1回水工学委員会以降の情報があれば)

(資料4)

- 部会:基礎水理部会、水文部会、河川部会、環境水理部会
- 常置小委員会: 水害対策、流量観測高度化、地球環境水理学、ISO/TC113、<u>グローカル気候変動</u> 適応研究
- 出版関連:水理公式集編集小委員会、論文編集委員会
- 関連委員会:河川懇談会、海岸、CommonMP、流域管理と地域計画の連携、環境システム、沿 環連、地球環境、ISO

部会長、小委員長および関連委員から各部会、各小委員会、関連委員会の活動報告と今年度予定に関する報告があった。詳細は資料の通りである。

5. レーダ雨量計50周年シンポ (資料5)

中北委員長から、レーダ雨量計50周年シンポの紹介が行われた。

6. 水工学委員会の組織図について (資料 6) 中山幹事長から、最新の組織図が紹介された。

7. 第4回流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップについて (資料7) 中山幹事長から、立川委員に代わりワークショップの紹介が行われた。

8. その他 無し。

≪協議事項≫

- 1. 平成 28 年度第 61 回水工学講演会の開催について (九州大学) (資料協議1) 杉原委員から、開催に関する詳細情報が紹介され承認された。
- 2. 平成 29 年度水工学に関する夏期研修会について(大阪大学) (資料協議 2) 平成 29 年 8 月末もしくは 9 月初旬に開催される予定であることが紹介され、開催日程日について継続審議することが承認された。
- 3. 平成 29 年度水シンポジウムについて (沖縄県、河川部会が第1分科会担当) (資料協議3) 平成 28 年 10 月 25 日 (火) に第1回実行委員会&企画部会合同会議が開催されることが紹介され、水工学委員会からの参加メンバーが承認された。

平成 30 年度の水シンポジウムに関して、静岡県と沼津市から開催に関する要望が届いていることが紹介され、静岡県での開催に向けて検討することが承認された。

実行委員会および企画部会の引継ぎによる混乱を避けるため、沖縄県での開催日が平成 29 年 6 月 1 日 以降となったとしても、現執行部が主体的に関与・サポートすることについて、次回の幹事会にて検討 することとなった。

4. 平成 29 年度第 62 回水工学講演会の開催について (岡山大学) (資料協議 4) 岡山大学にて平成 30 年 3 月 5 日 (月) ~7 日 (水) で開催されることが、あらためて承認された。

5. その他

無し。

○第1回水工学論文集小委員会

日 時: 平成28年10月7日(金)13:00~17:00

場 所: 土木学会2階 AB会議室(東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内)

議題:

1. 査読者の選定,査読依頼発送の準備について

投稿数は昨年度とほぼ同数であることが報告された。編集幹事長の原案どおり了承され、査読者の選 定が滞り無く実施された。

2. その他

無し。